



HIGA NEWS

2024年5月 第63号

編集・発行 一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会（HIGA）



会員の撮った一枚

エディオンピースウイング広島（広島市中区）



まちなかに新しいサッカースタジアムが完成

広島市中央公園に2月、サッカー専用スタジアム「エディオンピースウイング広島」が誕生しました。原爆ドームやゲートパークから徒歩で行ける中心部に位置しながらも、太田川に面し、水辺ひろばなど豊かな自然も感じられる「まちなかスタジアム」。Jリーグの試合開催日には満席となり、6月に日本代表戦が開催されることも決まりました。

夏には、スタジアム東側に芝生ひろばが整備され、カフェや子供向けプレイパークのほか、BBQやウォーターアクティビティも楽しめる商業施設もオープンする予定。また広島城までペDESTリアンデッキでつながり、市民も観光客も引き付ける新たな拠点となることが期待されます。



HIGA文化講演会 「日本の城の特色と見方」

英語会員 寄能 美恵

昨年11月12日、広島大学名誉教授 三浦正幸氏を講師にお迎えし、HIGA文化講演会が開催され、一般・HIGA会員を合わせて94人が参加しました。

この日は急に気温が下がり寒くなりましたが、参加者が減るかもしれないという心配は杞憂に終わり、開場時間の30分前から入場を待つ方がおられるほど、講演が始まる前から会場は熱気に満ちていました。畝崎雅子会長の開会の挨拶に続いて、三浦氏の講演が始まりました。

まずは海外の城と日本の城の違いから。中国やヨーロッパの城は都市の住民を外敵から守るための城壁であり、地震がないため垂直にそそり立って、水堀もほとんどない。一方、島国の日本は陸続きの外国から攻め入られることはないで、城は住民を守るためのものではない。城主を守りその権威を示すためのもので、地震国日本では揺れても崩れないように石垣にはゆるやかな勾配がある。安土桃山時代以降、城を中心として城下町が出来上がっていったのが都市のルーツであるという説明に、ひとことで「城」といっても、海外と日本でその成り立ちと役割がこんなにも違うものなのかと驚きました。海外では城壁で都市の範囲が分かるが、日本では城壁が無い場合外国人にとっては「この城は何を守っているのか」が分かりにくいとの説明に、ガイドとして新しい視点をいただきました。歴史的建築物の説



明は「何年に誰によって建てられて—」という事実説明から始めることが多いと思いますが、「海外の城と日本の城では守る対象が違う」という、まずはこの本質的な違いを説明することによって、目の前の独特な美しさを持つ日本の城に対する興味が高まるのではないのでしょうか。

広島城と姫路城の比較も大変興味深かったです。白鷺城とし

ても有名な白漆喰仕上げの姫路城に対し、広島城は板張黒塗り（墨・ススを使用）仕上げ。広島城の方が新しく高級な仕上げで、白漆喰よりも20～30倍費用がかかるものだそうです。白漆喰は初期費用は安いですが雨風に弱いため塗り直しのランニングコストがかかってしまう。板張黒塗り仕上げは初期投資が大きいが100年は大丈夫、また雨のかからない所には板を張らずコストを減らす工夫もされている。世界遺産として有名な姫路城と比べながら広島城の魅力をお伝えするのも楽しそうです。

最後に三浦氏が力説されたのは、城の豊かな個性と驚くべき多様性です。天守台の高さ、破風の種類、鯨（しゃちほこ）の材質、屋根の材質、窓の数、軒先の仕上げなど、それらの組み合わせにおいて、すべての城は個性的で同じデザインのものがないという指摘に驚きました。美しく威厳に満ちた日本の城、かつては国宝であった広島城を勉強し直して、その魅力を余すところなく、広島を訪れる人にお伝えしたいと強く感じた講演でした。

クイズです！

次の文章の空欄に適語を入れてください。（解答は4ページに）

- 第1問 () 海峡は、狭く潮の流れが速いため昔から海の難所として知られており、鳴門海峡、関門海峡と並ぶ日本三大急潮流の一つです。
- 第2問 JR西日本の木次線にある島根県の() 駅は、松本清張の小説『砂の器』に登場する駅です。昭和48年から駅舎で蕎麦屋が営業されています。
- 第3問 視覚障害者用の点字ブロックは1967年世界で初めて中国地方の() 市に敷設されました。盲学校の生徒が交差点を安全に渡れるように、同市在住の三宅精一氏によって考案されました。
- 第4問 林芙美子の『放浪記』の一節です。「赤い() の塔が見える。山は爽やかな若葉だ。緑色の海向うにドックの赤い船が帆柱を空に突きさしている。私は涙があふれていた。」



つばめ交通株式会社
〒732-0066 広島市東区牛田本町4-5-10
配車センター 082-221-1955
<https://www.tsubame.co.jp/>

東洋観光グループHD
お好み焼 ● 鉄板焼
徳川
総本店
広島市中区胡町5-12 東劇ビル2階
082-241-7100



現地集合型ツアー「新装岡山城と秋の後楽園」

英語会員 中島 美幸

少し肌寒い秋晴れの11月26日、研修旅行グループ主催の岡山での研修旅行に参加しました。3グループに分かれ、地元の「おかやまもたらうガイド」所属のガイドさん3人（陶山氏、佐藤氏、千田氏）に案内していただきました。私が参加したグループのツアーの時間配分は、後楽園内が1時間40分、岡山城天守閣入口までの案内が20分でした。

まず、後楽園。園内の池にかかる栄唱橋という橋はジグザクの形をしています。直進しかできない悪い霊が向こう岸から橋を渡って来られないように、こんな形になっているとの言い伝えもあるとか。鹿が公衆トイレ等に入らないように工夫した宮島の「鹿戸」のようだと何だか可笑しくなりました。また、園内を美しく彩る水路は、毎朝ポンプで伏流水をくみ上げて流すので真夜中は水がないそうです。そういえば水路に魚はいませんでした。水路と繋がる「沢の池」などには、掘り下げた場所があり、鯉たちは夜、そこに避難しているようです。園内にどう見ても「足湯」のような場所がありますが、その昔お殿様が様々な水紋を鑑賞する趣のある場所だったようです。形、大きさ、高さの異なる石を配置することで創り出される水紋を楽しまれている



たとはお殿様の風流な人柄がうかがえるようでした。

2022年にリニューアルした岡山城。歴史学者の磯田道史氏が城内の展示を監修されました。個人的にはこれまで訪ねたお城の中で一番楽しめました。皆が触ってみたいだろう、体験したいだろうと思う物は触る事ができ、写真撮影可能な物も多くあります。磯田氏が子供の心で監修されたのではないのでしょうか。江戸時代のかごに乗った後は、お殿様用のトイレを体験。さらに、「関ヶ原の戦い」を説明するショートフィルムや磯田氏の歴史解説ビデオが流れ、誰もが楽しく理解できるような工夫が満載でした。外に出ると表書院（岡山城内最大の御殿で藩主の公邸兼藩庁）跡が地表に表示されています。また、城の増改築工事によって埋められた築城時の石垣を見ることもできます。岡山城は、城内での禁止事項が少なく「開かれた城」だと感じました。

DX研修会「Zoomのホストをやってみよう！」

理事・英語会員 宮本 順子

年の瀬の迫った12月23日、第3回DX研修会として「Zoomのホストをやってみよう！」が開催され、28人が参加しました。コロナ禍でオンライン研修やミーティングが増え、Zoomの参加には慣れた方が増えたと思いますが、ホストを経験する機会は少ないのではないのでしょうか？ 今回の研修は「Zoomミーティング」と講演会やセミナーに適した「Zoomウェビナー」のホストについて、初歩的なことから細かい設定の仕方まで、盛り沢山の内容でした。

講師は、津山睦美副会長。まずはZoomミーティングの設定から説明が始まり、ブレイクアウトルームの作り方と事前割り当て、登録の仕方、と実践に即した内容で進んでいきます。参加者の登録については、申込者が直接入力する方法と、ホスト側で入力する方法がありますが、これはウェビナーの事前登録にも応用できます。大勢の参加者をホスト側で登録するのに便利なCSVファイルを使用したリスト

の作り方を学び、それをインポートする際に陥りやすいエラーの対処方法の説明もありました。皆さんもウェビナーに申込登録して、表示される名前が意図せず姓名の順でなく名姓と逆転してしまった経験はないでしょうか？ その原因や解決方法についても触れ、登録の仕組みが理解できました。

Zoomのホストを担当する機会は少ないかもしれませんが、この研修動画を見ることで疑似体験ができ、急にホストの依頼をされても、自信をもって対応できるようになると思います。今回の研修の約1時間の動画と33ページにわたる詳細なレジュメはアーカイブされていますので、HIGA会員はいつでも復習することができます。後は実践あるのみです。今後機会があったら、一緒にホストをやってみませんか。

しっかり学習した後は、HIGAオンライン大忘年会で小グループに分かれて、歓談を大いに楽しみました。

アートの島「直島」でのウォーキングツアー

英語・ドイツ語会員 伊丹 陽子

岡山エリアのHIGA会員からなる「チーム岡山」が企画・実施した「直島本村エリアウォーキングツアー」に参加しました。

このツアーは、2月4日、9日、12日、15日の4回、チーム岡山のリーダー松本伸一会員を案内役に、本村地区の「家プロジェクト」と「ANDO MUSEUM」を巡るといふ何とも魅力的な企画です。私が参加したのは2月4日の回です。

当日の集合場所は本村地区の観光の拠点である「本村ラウンジ&アーカイブ」。ツアーリーダーの松本会員、サポート役で参加したチーム岡山の尾崎美樹会員と平井睦枝会員、そして参加した会員同士で挨拶を交わし、和気あいあいの雰囲気ですべてスタートしました。

本村地区の「家プロジェクト」は、空き家となった古い家屋をアーティストが改修し、空間そのものを作品化するアートプロジェクトで、現在7作品が公開されています。今回は、1998年にプロジェクトの一軒目として公開された「角屋」(宮島達男氏制作)を始めとする6作品を訪ねた後、直島アートプロジェクトの歴史にその名を刻む建築家安藤忠雄氏の美術館「ANDO MUSEUM」を見学しました。午後は、「ヴァレーギャラリ」と「ベネッセハウスミュージアム」を見学するオプションツアーに全員がそのまま参加しました。

参加者は松本会員に導かれて、本村地区では迷路

のような小路を歩きながら、また午後には考え抜かれた無駄のない行程で町営バスと美術館エリアのシャトルバスを乗り継ぎ移動しながら、ガイドのコツや注意点を学ぶとともに、「巧みなガイドの案内でアートに浸るお客様」の立場を体験することができました。ガイドの説明がなければ見過ごしてしまいがちなポイントが、アート鑑賞をより感動的なものにしてくれることに、改めて気づかされました。

今回何よりも感じたのは、チーム岡山の皆さんの温かい人柄や細やかな心遣い、そして直島への愛が伝わり、参加者の心に残るツアーになったことです。AIではこうはいかないでしょう。通訳案内士の仕事の意義はここにあると意を強くしました。

「とても勉強になりました。いつか豊島(直島に近く、同様に自然とアートで知られる島)のツアーも計画してください！」とチーム岡山の皆さんに図々しくお願いをして、直島を後にしました。



家プロジェクト「角屋」にて

クイズの解答

第1問 くるしま「来島」しまなみ来島海峡遊覧船が運航されており、海峡の潮流を間近で体験できます。また、村上海賊の居城跡の一つ「来島」、今治の造船所群、真下からの来島海峡大橋を見ることもできます。

第2問 かめだけ「亀嵩」駅舎内の蕎麦屋「扇屋」は、石臼で挽いた国産のそば粉と奥出雲の天然水を使用し、手打ちで仕上げたコシのあるそばを提供しています。



第3問「岡山」当初、点字ブロックは灰色でしたが、弱視者にもわかりやすいように黄色になり、また方向を示す線状の突起が並ぶ誘導ブロックも作られました。今では約150か国に普及しています。

第4問「千光寺」この一節は芙美子が東京から5年ぶりに尾道に帰郷する汽車から見た風景です。芙美子像が尾道本通り商店街の駅側入り口にあり、千光寺は尾道港を一望できる山の中腹にあり、千光寺公園では春は桜、ツツジ、初夏には藤が楽しめます。

(出題：英語会員 光成 美恵子)

HIGAの活動報告(2023年11月～2024年4月)

- 11月12日 (日) 文化講演会「日本の城の特色と見方」講師：三浦正幸氏 (広島大学名誉教授)
- 11月26日 (日) 「新装岡山城と秋の後楽園」現地集合型ツアー
- 12月2日 (土) 通訳案内研修(オンライン)：法定研修・自主研修
- 12月23日 (土) 第3回DX研修会「Zoomのホストをやってみよう！」& HIGA大忘年会
- 2月4日 (日)、9日(金)、12日(月)、15日(木) 直島本村エリアウォーキングツアー
- 2月18日 (日) 新人研修会(一般対象、オンライン座学)
- 2月24日 (土) 新人研修会(一般対象、現地研修)
- 3月2日 (土) 2024年度定時総会・懇親会(ハイブリッド開催)

一般対象 HIGA新人研修会「広島平和記念公園」

理事・英語会員 渡邊 妙子

今回初めて、ガイド経験のない、またはガイド経験の少ない一般の方を対象にHIGA新人研修会「広島平和記念公園」(オンライン座学/現地)を開催しました。

2月18日午前のオンライン座学(1時間半)では、平和記念公園を案内する際のコースやポイント、気をつけておきたい点等について、津山睦美副会長、佐藤仁美会員が解説しました。広島県内外から18人の参加があり、事前資料およびパワーポイントを使用した講義の後、質疑応答の時間を設けました。参加者からは、残留放射線はいつ頃まで残っていたのかなど原爆被害に関する質問や、団体客への説明ポイントなどについての質問がありました。

2月24日午後の現地研修(3時間半)には、14人が参加されました。参加者は2グループに分かれ、座学で学んだことを、実際に平和記念公園を歩きながら確認し、それぞれ講師の畝崎雅子会長、海生郁子会員から日本語と英語で説明を受けました。最後にレストハウスでグループごとに質疑応

答の時間を設けました。

参加者からは、英語圏でないお客様が多い時の対応、英語圏と非英語圏のお客様が同じツアーの場合の対応、原爆ドームから始める場合と資料館から始める場合で切り口や動線をどう変えているか、原爆投下などについて持論を主張された際の対応の仕方など、多岐にわたる質問がでました。

広島を訪れる外国人観光客の多くは、被爆の実相を知るために平和記念公園を訪れます。とりわけ昨年夏の映画「オープンハイマー」の公開以降、益々ヒロシマに関心を持つ方が増えているようです。お客様の疑問に的確に答えるための研鑽が必要となりますが、今回の研修がその一助となれば幸いです。



広島平和記念資料館のウェブチケット事前購入システム

英語会員 小松 佐知子

広島市は、平和記念資料館の混雑解消策として、今年3月1日以降の入館分についてウェブチケットの事前購入サービスを導入し、併せて開館時間の延長や、資料館内外3か所の混雑状況を映すライブ映像の公開を実施しています。

すでにこのサービスを利用された方も多いと思いますが、改めて、国内販売向けのチケットの購入方法や注意点について市の担当課に確認した情報をまとめてみました。

チケットは、来館予定日の90日前から購入可能で、個人と団体(大人30人以上)で、それぞれ別のチケット

販売ページから購入します。お客様が個人の場合は、チケット購入後QRコードが発行され、団体の場合は、購入確定メールが届きます。

朝夕各1時間の延長時間については、ウェブチケット購入者のみ入館が可能です。また、購入後に人数・日にちの変更はできないため、変更した

資料館混雑状況



個人の場合はこちら



団体の場合はこちら



い場合は、いったんキャンセルした上で、再度購入する必要があります。時間については、通常開館時間内は指定した入館時間以外でも入館することができます。

さらに、ガイド分については、個人の場合は「免除対象者の方(その他の方)」、団体の場合は「ガイド等(0円)」のチケット購入が必要です。領収書の発行については、個人の場合は、クレジットカード払いであれば発行可能ですが、団体の場合は発行できません。入口は、ウェブチケット購入者と当日券購入者の列に分かれて入館する形になっていますが、団体の場合は、南側団体等専用入口から入館します。

2025年3月末まで試験導入されているこのシステムを実際に利用したHIGA会員からは、入口で長時間並ばなくて済むようになった、などの声が聞かれますが、館内の混雑を解消するにはまだ課題も多いようです。広島市では引き続き、資料館以外に一部の収蔵資料を分散させるなど、さらなる混雑解消策を検討していくとのことです。

みやじまの宿

岩惣

〒739-0522 広島県廿日市市宮島町もみじ谷
TEL 0829-44-2233 <http://www.iwaso.com/>

わかさの
はやし

おかげさまで七十二周年
宮島で一年中
生がきが食べられます

TEL 0829-44-0335

英語でも堪能できるようになった「ひろしま神楽定期公演」

英語会員 佐藤 仁美



毎週水曜夜の「ひろしま神楽定期公演」（毎年4月～12月）が11年目になる今年も幕を開けました。昨年秋から口上（セリフ）の英語字幕モニターの設定と、HIGA会員による司会の英語通訳がスタートしています。コロナ禍で中断していた外国人向け夜神楽「An Evening of Kagura」のノウハウが従来の定期公演に組み込まれ、英語でも神楽が楽しめるようになりました。

姿もありました。公演のクライマックス、琴庄神楽団自慢のど派手な“投げ蜘蛛”で、会場は興奮に沸き返りました。終了後の記念撮影会もまた大きな魅力です。豪華な衣装を羽織り、舞い手と一緒に写真を撮ったり言葉を交わしたりできる素晴らしい機会に、みなさんの笑顔が弾けていました。

広島県民文化センターでは日本人に加えさらに多くの外国人来場者を目指し、英語表記を充実させた公式ガイドブックの作成など、様々な仕掛け作りをしていっしょにやります。「街と週のど真ん中」、原爆ドームからすぐの会場です。水曜夜に広島に滞在されるお客様をぜひご案内下さい。詳しくは公式サイトで。



4月3日、初日の公演は北広島町琴庄（きんしょう）神楽団の『土蜘蛛』。詰めかけた400人を超える観客のうち、外国人客は過去最高の134人でした。その中にはHIGAのガイドがお連れした団体客の

【ご協力ありがとうございます】 ~with sincere thanks~

HIGA賛助会員の皆様（2024年5月現在 順不同、敬称略）

- 団体会員： 広島商工会議所 広島トヨペット（株）（有）はやし
 JTB協定旅館ホテル連盟広島支部 つばめ交通（株）（株）藤い屋
 （一社）広島県観光連盟 カフェ・ポンテ 岩惣 広島県民文化センター
 あいおいニッセイ同和損害保険（株） 東洋観光（株）
- 個人会員： 古谷 英明 延本 真栄子 吉中 康磨 藤井 倫子 清水 憲吉
 辻 孝和 吉井 敏弘 河野 博行 くらわんか 青野 重信
 藤井 芳子 田島 謙治 花やしき 畝崎 辰登

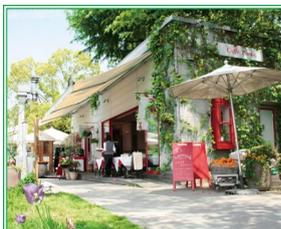


賛助会員としてご協力くださる団体、個人の方を募集しています。ぜひこの機会に入会をご検討くださるようお願いいたします。年会費は一口につき団体会員2万円、個人会員5千円です。団体会員には、HIGAニュースに広告掲載の特典があります。お申込み、お問合せは当協会事務局 082-245-8346（月～金 11:00～16:00）まで。

本誌へのご感想・ご意見をお寄せください。HIGA事務局へEメール: higa@urban.ne.jp どうぞ。

【表紙の写真・文】 英語会員 大川 富美

【編集後記】2011年広島県内の犬猫殺処分数が全国最多であったことが問題となり、行政が積極的な対策を講じた結果、広島県と広島市では2013年10月以降、健康な犬猫の殺処分ゼロを継続している。その対策の一つである「地域猫活動」に登録し、現在13匹の野良猫の保護活動を近所の仲間と続けている。不妊去勢手術をした目印の「さくら耳」の猫たちから毎日癒しをもらっている。（茶々丸）



広島平和記念公園対岸
元安橋たもとのオープンカフェ
Caffè Ponte
カフェ・ポンテ
【住所】広島市中区大手町1丁目9-21
【予約専用電話】082-247-7471
年中無休

大正十四年創業
宮島 藤い屋
〒739-0588 広島県廿日市市宮島町1129
TEL 0829-44-2221 FAX 0829-44-2022
オンラインショップ <http://www.fujiya.co.jp>